

令和6年12月 下田市教育委員会定例会 会議録

令和6年12月25日(水)13時30分、下田市教育委員会定例会を下田市立中央公民館大会議室に招集した。

出席委員は次のとおりである。

山田 貞己 教育長
宮内 慎也 委員
宮川 大輝 委員

委員以外に出席した者は次のとおりである。

平川 博巳 学校教育課長
宇仁 猛 学校教育課参事
澤地 彩 学校教育課 課長補佐兼こども育成係長
鳥澤 早斗子 生涯学習課 図書係長
坂部 琢 生涯学習課 社会教育係長

本会議録調製者は次のとおりである。

八代 佳南 学校教育課 主事

1 開会

13時30分 教育長開会を宣す。

2 会議録署名人選出

会議録署名人に 宮川 大輝 委員を選出。

3 11月定例会会議録承認

事務局より報告、承認。

4 教育長報告事項

12月事業報告及び1月事業計画について、学校教育課参事、生涯学習課 社会教育係長から資料に基づき説明。

教育長 今回からご参加いただく宮川新委員の自己紹介からお願いいたします。

宮川委員 宮川大輝と申します。自己紹介ですが、私、3つの名前の読み方に癖がありまして、引っ掛かる方がよくいらっしゃいます。お寺が龍巢院(りゅうすういん)、住所が箕作(みつくり)、名前が宮川 大輝(みやかわ たいき)です。
よろしくをお願いいたします。

教育長 名前の読み方の問題は一生関わりますね。宮川委員には12月15日から4年間教育委員を務めていただきます。よろしくをお願いいたします。

教育長 避難所運営 課題を検証(11月27日付 伊豆新聞)

・下田中学校2年生の災害時を想定した受入れ訓練です。総合的な学習の一環で行われた避難所運営に生じる課題を想定した訓練で、1、3年生もさまざまな患者や避難者の役割を演じて全校体制で実施されたようです。

サクラソウ苗を寄付(11月27日付 伊豆新聞)

・下田市振興公社から下田中学校に200の苗が贈られました。環境美化と自然保護思想の普及をねらいとするものです。園芸委員会が卒業式にも活用するのではと思われます。これから毎日世話をするとします。

思春期の悩み相談 下田高校1年生(11月27日付 伊豆新聞)

・130人の1年生と社会人が人生について考えるきっかけとなるために、幅広い分野の人たちと語り合うトークフォークダンスが2回目となりました。社会人にも好評のようです。

わいせつ中学教員を免職(11月27日付 静岡新聞)

・県東部の中学教諭(31)は、女子高生にわいせつ行為で免職。中学生時代からSNSで交際を続けていたという事案。浜北西高校男性教諭(63)は、部活動指導中の暴力で戒告処分。県立特別支援学校の女性教諭(46)は、相手に全治2ヶ月の怪我を負わせる交通事故で30日の免許停止と罰金20万円で同じく戒告処分ということでした。

中高生の6割「視力1.0未満」(11月28日付 静岡新聞)

・2023年度の学校保健調査の結果です。裸眼視力1.0未満の割合は、小学生37.79%、中学生が60.93%、高校生が67.8%で過去最多。オーストラリアやスウェーデンがスマホ使用やタブレット使用をやめる方向で進んでいる理由が、視力の低下や学力が定着しにくい実態を踏まえてのことと、ある記事にありました。

全国学生書写書道展(11月28日付 伊豆新聞)

・硬筆の部で朝日小6年生金守さんが優秀特選。白浜小2年生の野中さんと5年生立野さんも優秀特選に選ばれました。金守さんは、企画課係長のお嬢さんです。

熱海市長賞に進士さん(下田中) (11月28日付 伊豆新聞)

・静岡YMCA中学生英語スピーチコンテストの結果です。県東部の中学生14人が参加。このほか同じく下田中の橋本めいさんが2位にあたる優秀賞を受賞しています。自主的な参加ということで、よかったと思います。

秋山選手(プロ野球広島東洋カープ)下田市の観光大使に (12月1日付 伊豆新聞)

・下田市の応援観光大使に任命することになったという記事で、年明けに任命式が行われる予定です。詳細は未定です。秋山選手は2018年から毎年下田市吉佐美に自主トレにみえている方です。

11月30日静岡県市町対抗駅伝競走大会(11月30日付 伊豆新聞～12月1日付 静岡新聞)

・2日間の記事です。29日には河内庁舎で壮行会が開かれ、30日当日は快晴のコンディションでしたが、強風が吹き、選手を大分苦しめました。下田市の記録は、2時間30分19秒で最下位でしたが、強風の中向かい風を浴びた悪条件でも、タイムは昨年とほぼ同じでしたので、風がなければ大幅なタイム更新が見込まれ、敢闘賞もあったのではと感じた内容でした。毎年結果抜きに数か月にわたって練習に前向きに全力で励む選手に頭が下がります。渡邊総監督にも嬉しい集合写真が届けられていると思います。

市議会12月定例会 (12月4日付 伊豆新聞)

・一般質問では、岡崎議員から市立図書館について、楠山議員から小中学校の英語教育についてありました。それぞれ生涯学習課長と学校教育課長から答弁していただきました。

全国の小中学生不登校34万人 (12月4日付 伊豆新聞)

・仮想空間に学びの場開設、静岡バーチャルスクールの試行運用を開始する記事です。

トップ水準も理科低下 (12月5日付 静岡新聞)

・2023年国際数学・理科教育動向調査の結果です。世界の小学校4年生と中学校2年生を対象にしたものです。さまざまな数値が出ていますが、この学年は、小学校低学年時に新型コロナウイルスで話し合い活動が制限された実態があり、その影響もあると分析されています。結果は決して悪くありません。

闇バイト対策 (12月5日付 静岡新聞)

・中高生が闇バイトを通じて犯罪に加担するのを防ぐため、県警の監修を得て開発されたチェックシート型教材を使うというものです。こここのところ、中学生が闇バイトに巻き込まれるという報道が出てきています。市の校長会でもその話はしております。

老朽化の下田市立図書館移転 教育長表明（12月6日付 伊豆新聞・静岡新聞）
中央公民館に図書館移転 複合施設化を検討

・先ほどの議会一般質問の答弁を取り上げられたものです。あくまでも1案としてということで答弁させていただいています。

特選67点 県審査へ（12月6日付 伊豆新聞）

・賀茂地区小中学生の席書コンクール審査結果です。

修学旅行中に生徒資料紛失（12月10日付 静岡新聞）

・沼津西高校での案件です。これから下田中が2月にありますので、注意喚起を思っています。

小中いじめ訴訟 浜松市（12月10日付 静岡新聞）

・浜松市の20歳の女性が、小中学校時（1～5年生、中学進学後も）にいじめを受けていたことで損害賠償を求めた訴訟です。市は請求棄却の答弁書を提出したとのこと。重大事態として調査依頼をしたが、市が適切な措置を講じなかったとして、安全配慮義務違反だと主張しているとの報道です。対岸の火事ではなく捉えていきたいと思えます。

海水浴時の注意点 溺れたときどう対処するか（12月11日付 伊豆新聞）

・下田中1年生が、2、3年生に引き続き海の安全教室で学んだという記事です。下田海上保安部と下田ライフセービングクラブの指導で、溺れたときの対処法を学ぶと共に、海に親んでもらいたいと企画されたものです。夏休み前にも小学校等で同様の教室は開かれています。下田中学校の人数ですと、夏の敷根プールの確保が難しく、この時期での実施となったようです。

バーチャルスクール 定員の倍超える応募（12月11日付 静岡新聞）

・先ほどの12月4日の記事関連です。試行運用のための募集を150人の枠でかけていたところ、350人以上の応募があったとのこと。1月6日から3月14日までの期間での試行運用です。県は、運用方法を工夫して応募者全員に体験させたい意向のようです。新しい学びの場としてどうか、運用結果を待ちたいと思います。下田市は2枠応募しています。

災害時 トイレ問題解消へ 下田中にマンホール式トイレ整備（12月12日付 伊豆新聞）

・マンホールの上に便器などの簡易的トイレ設備を設け、組み立て式のテントやボックスで囲った簡易トイレのことで、広域避難場所に指定されている下田中学校に来年度整備されるということです。

市立図書館の話題（12月12日付 伊豆新聞コラム）

・石川県県立図書館の内部に圧倒されたというのですが、そこまでは望めるものではないが、地域事情や市民の将来負担を考えつつ、使い勝手や居心地など理想とする図書館を目指したいとまとめています。

鈴木まもるさん 静岡書店大賞受賞（12月13日付 伊豆新聞）

・児童書新作部門で、絵本化された手塚治虫さんの「火の鳥」が大賞受賞です。書店員442人、図書館員148人が投票したということです。これまでも、まち図書館や子ども図書館のイラスト、来年度から走り始める移動図書館車のイラストでもお世話になっています。これからも下田市のためにご活躍を祈ります。

佐々木さん特別賞（12月13日付 伊豆新聞）

・県夏の読書感想画コンクールの結果です。白浜小3年生、下田中学校美術科教員佐々木浩彦先生のお嬢さんです。お父様も美術教師でした。夢は絵本作家だそうで、まもるさんに負けない下田市出身の絵本作家登場になってほしいです。

困窮世帯の子ども「学校楽しくない」28%（12月15日付 静岡新聞）

・子どもの貧困対策に取り組んでいる公益財団法人の調査での数値です。全然楽しくないと答えた子ども、あまり楽しくないと答えた子どもの合計の割合が28%。そのうち80%以上が生活が苦しいと感じているということです。対象は、生活保護受給世帯、住民税非課税世帯で、小学生以上や保護者6,000人弱。保護者の年収の平均は178万円でした。

吉田松陰の史跡探検（12月16日付 伊豆新聞）

・先ほど報告がありました、生涯学習課で実施しました。4人一家族でしたが、インフルエンザの影響があったようです。去年は10数人の参加だったのでしょうか。来年は工夫して人数が集まればと思います。

SNS規制 子どもをまもる方策つくれ（12月16日付 静岡新聞）

・オーストラリアの話題を受けて、11月下旬日本政府も「インターネットの利用をめぐる青少年の保護のあり方に関するワーキンググループ」の初会合を開いたとのことです。若年層のインターネットやスマートフォンの利用率、SNSに起因する犯罪被害数を取り上げています。

子供のSNS禁止 7割が実効性疑問（12月17日付 静岡新聞）

・この記事は現地オーストラリアでの様子で、シドニーで実施された世論調査結果です。1,600人の回答で、禁止に賛成は58%ですが、実効性（どれだけ有効性があり、成果が上がるか）への批判が68%です。

南豆ソフトテニス中学生予選会（12月18日付 伊豆新聞）

- ・下田中生徒が女子で優勝、男子で3位となりました。

パクチー入りの餃子で県コンテストで大賞受賞（12月19日付 伊豆新聞）

- ・南伊豆分校の園芸科生徒が、地元産の野菜を使ったレシピコンテストで、県内130点の中での大賞ということです。主催者側の社長は直売所やスーパーなどで販売を予定してくださっているということです。最近南伊豆分校の生徒のさまざまな研究や発表での活躍が目立ち嬉しいことだと思っています。

防災講座から（12月19日付 伊豆新聞コラム）

- ・16日に下田市が開催した防災講演会での講師、地震学者の都司嘉宣さんのお話は過去に被災した現地をくまなく訪れての膨大な資料、研究がテンポよく解説されて興味深いものでした。

全日本高校バレー出場 富士見高校(富士市)（12月19日付 静岡新聞）

- ・下田市稲梓出身の鈴木真優選手が在籍し、活躍しています。

新聞記事はそこまでです。

教育長

報告事項は以上です。質疑等ございますか。

宮内委員

よろしいでしょうか。

11月28日付 静岡新聞 中高生の6割「視力1.0未満」の記事についてです。

スマホ使用が原因のひとつと挙げられていますが、私自身がこの記事に該当し、スマホが手放せない状況にあります。また、自分の子どもがゲームをやり過ぎて心配です。私としては、子どもとどんどんコミュニケーションをとっていききたい、子どもと話す機会を作っていきたいと思います。成人するまでは親の責任だと思います。

12月5日付 静岡新聞 トップ水準も理科低下の記事についてです。

国際数学・理科教育動向調査の結果が出ていますが、何故シンガポールは学力が高いのでしょうか。

教育長

昔からこういった調査ではシンガポールは上位です。例えば1学級の人数が少ないため、マンツーマン的な教育が行われているのかなと考えられます。

日本も働き方改革を進めている中、先生方の頑張りが結果に出ていると思います。日本の先生方は非常に真面目に教育活動をやってくれています。もしかしたらシンガポールも含め、上位を占める国の先生方の教育への誠実さが、結果に繋がっているのかもしれない。

先程のスマホ使用による視力低下の記事に戻りますが、オーストラリアではスマホ使用が16歳未満は禁止されています。スマホがきっかけで自殺をした子どもが多く出たということで政府が取り上げました。

また、フィンランドは日本より15～16年ほど前からSNSやタブレットを使った授業をやっていましたが、現在はやめています。学力の定着がみられないということと、視力低下という健康上の問題があるということが浮上してきたからです。

常にタブレットやスマホを利用するのではなく、上手に活用する方法があればいいと思います。

宮川委員、いかがでしょうか。

宮川委員

私はスマホを持っておりません。ですが、子どもの親が常にスマホを使用している社会環境になってます。この状況下で制御していくのは、なかなかコントロールが利かないところもありますし、それぞれが自覚を持ち制限しながらやるしかないと思います。

教育長

宮川委員、他に何かございますか。

宮川委員

11月27日付 静岡新聞 わいせつ中学教員を免職の記事についてです。

更生保護の観点からいうと、現在法律でわいせつをした方をデータ化して、どこに就職するとしても調べられるようなシステムを作ろうという動きがあります。保護主義の観点からすれば社会復帰させなければならないにも関わらず、そういったデータがあることで該当者の社会復帰を妨げてしまいます。法律の話にはなりますが、もう少し考えなければならないのかなと思います。該当者は1度わいせつをしたら、一生社会復帰できないのかという問題です。更生という立場から、私たちとしても困ります。

教育長

それだけ小学生に対するわいせつ事案が増えているともいえます。このため先生方への指導として、教え子が学校を卒業してもSNSの交換は禁止しています。こういった事案があるため、国でも海外でも対策として行っております。また、嫌な話ですが、先程のわいせつ記事の中学教員も事案がデータ化されて周知されています。

教育長

他に質疑はないようですので、以上で教育長報告事項を承認とさせていただきます。

5 事務局より報告事項

教育長

本日議事はございませんので、続いて事務局から協議報告事項がありましたらお願いいたします。

学校教育課長

12月議会での学校教育課の質疑回答について報告

大西議員

質問 避難所となる体育館への空調設備設置予定は。

回答 現時点で計画はないが、冷房設備の設置は必要と考えており、国・県と協議をして検討する。

楠山議員

質問 A L Tの現状とこれまで以上の充実への方針は。

回答 グローバルな視点からどのような取り組みができるか、教育過程や年間計画を踏まえて探っていく。

質問 英語力を発揮する機会の下田市の現状と今後の方針は。

回答 A L Tの活用も含めてグローバルC I T Yプロジェクトの一環として事業展開できるよう学校側と探っていく。

質問 その具体的な方策は。

回答 幼小連携事業などA L Tを活用した英語を使った体感ゲーム、しもだ寺子屋の実施に向けて検討を進める。

生涯学習課
社会教育係長

12月議会での生涯学習課の質疑回答について報告

岡崎議員

質問 下田市立図書館の再整備に向けて。

回答 まず賀茂郡内で図書館の利用率が1番低いという状況から、市民に本を読んでもらう機会を増やす。まちじゅう図書館を進めていきたい。

令和4年度に下田市立図書館整備計画基礎調査業務、令和5年度に生涯学習施設整備基本構想策定業務を実施した結果、図書館再整備として中央公民館の1階部分に図書館をつくるという案がある。

楠山議員

質問 公園の整備及び利活用にあたり、吉佐美運動公園へのスケートボードパークの整備について。

回答 現状設置の計画はないが、今年度策定のスポーツ推進計画について検討していく。

澤登議員

質問 ウミガメ保護条例の制定について。

回答 教育的側面も含まれていることから、関係各課や関係機関と連携し検討していきたい。

教育長

何かご意見とかご質問ございますか。

質疑等はないとのことで、私から一点ご報告があります。

職務代理者の指名についてです。職務代理者でいらっしやった西堀委員が退任されましたので、その後任として佐藤委員を指名させていただきます。宮川委員は初めて

でしたのでお声掛けはいたしませんでしたが、ご本人、宮内委員、西川委員には事前にご了承をいただいております。こちら皆様にもご了承をいただきたいと思います。
協議報告事項については、以上でございます。

6 その他

教育長より教育委員へ 定例会終了後、元教育委員田中としこ先生の文科表彰授与式への出席依頼。

教育委員会 1月定例会を 1月 28 日(火)13 時 30 分から開催。会場は下田市立中央公民館大会議室。

7 閉会

12月定例会 12月25日(水)13時30分開会。

教育長 14時30分に閉会を宣す。

会議録署名人